L.L.News 「九段オープンラーニング ～生涯学習で新しい発見を～」

昨年に引き続き、2016年度の事業展示報告会が開催されました。一目瞭然の“パネル展示”&生涯学習や九段生涯学習館についての疑問に答える“学びのコンシェルジュ”も設置。開催に先立ち、交歓会も行われました。

交歓会レポート ››› 2016年3月7日 九段生涯学習館2Fギャラリー

①九段生涯学習館で活動する方が出席

②九段生涯学習館より1年の事業内容を紹介

③2015年度講座から結成されたゴスペルサークルによるミニコンサート

＼九段生涯学習館での／
活動について話を聞いてみました

寺岡かおりさん ›››「エボリューションウォーキング」サークル講師

正しい歩き方を身に付ければ、体の歪みも少なくなり、腰痛などの痛み発生の予防になります。私自身、理学療法士として働いているので、サークルではその知識を生かし、身体の故障予防に有効なエクササイズを行っています。

仲山浩二さん ›››「わをん」サークル代表

講座に参加して、ミュージカルの楽しさに魅了され、サークルを結成しました。音楽は生活を豊かにしてくれます。ただ歌うだけでなく、振り付けもあり、世代間ギャップもなんのその。みんなで話し合って頑張ってます。

加藤恵子さん ›››「洋服でも楽しむ日舞のつばさ会」講師

日本文化を大切にするという気持ちを常に持って生活することが大切ではないかと思っています。普段使いの洋服に、着物の良さを活かしていきたいと思います。そのために、私ができることは何でもしたいと思っています。

④交流や情報交換

左から寺岡さん、加藤さん、仲山さん

Mana-being ›››
九段の学び舎で学んでいる仲間が集った九段オープンラーニング。生涯学習を貫いて、自分を成長させ、深めていった魅力のある人達ばかりです。〔三浦〕

九段生涯学習館からのお知らせ　11号でお知らせした「講座企画案募集」に集まった企画が、いよいよ講座となります。

人材バンク活用講座

［テーマ］ハワイアンキルト／ローフード／建物と防災／フラメンコ／頭皮ケア／バレエの見方／論理的思考を育むフォイヤーシュタイン

区民自主企画運営講座

［テーマ］バランスボール／コラムを書く／大人のリトミック／像力を育むカード&ボードゲーム／マラソン／合唱／百人一首／茶道

5月下旬から順次、各講座の案内&受講生の募集が始まります。講座開始日の1ヶ月前からのお知らせになりますので、広報千代田や九段生涯学習館のホームページをチェックしてください！皆さまのご参加をお待ちしています。

編集後記 ›››DanDan編集者 松田
「至るところに稲荷があるよね」。その疑問からはじまったのが今回の特集です。江戸文化のDNAが今なお、稲荷に根付いていることがよくわかりました。編集会議では侃々諤々の議論をしましたが、今は無事発行できたことにホッとしています。

DanDan
DanDan第12号
平成28年5月30日発行
発行｜千代田区立九段生涯学習館
©株式会社小学館集英社プロダクション
DanDan編集室
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-10
TEL 03-3234-2841 FAX 03-3262-7460

＼九段から発信する生涯学習コミュニティペーパー／

volume 12
TAKE FREE

DanDan

ありがとう、ゆっくり、まあるく かかわっていく

＼特集／

千代田区と稲荷

万の昔から、稲荷は「五穀豊穣の神」とされてきました。江戸時代になると商人や職人が「商売繁盛の神」として信仰するようになりました。京都の総本社「伏見稲荷大社」から勧請、分霊などが相次ぎ、「江戸名物、伊勢屋、稲荷に犬の糞」と言われるくらいに江戸を代表する存在になってきました。今も残る稲荷を紹介します。

もくじ

特集｜千代田区と稲荷 & お散歩かるた「稲荷神社」
シリーズ｜千代田の学び人にあいたい 徳光祝治さん［結びの会・代表］
L.L.News｜九段オープンラーニング・交換会レポート & 企画案募集から講座ラインナップ

千代田区立
九段生涯学習館
こころを育み 明日へつなぐ

江戸時代からの名残の祠

＼滝口正哉先生［前千代田区文化財調査指導員］に聞きました／

三崎稲荷神社や太田姫稲荷神社は江戸時代より前からありました。徳川家康が江戸幕府を開いた後、江戸の人口は増え、特に千代田区は武家屋敷、商家、長屋が建ち並ぶ地域となります。

商家は個人持ちの稲荷、武家屋敷は敷地内に祠を祀り、町人の住む長屋では共同管理する稲荷ができ、住民の身近な信仰の神となっていきます。現在残っている稲荷の多くはこの頃にできたものです。

明治維新以降、武家屋敷はなくなるなど、千代田の街は大きく変りました。現在残っている稲荷の多くは町内や有志で管理され、その姿を残しています。

地域住民の身近な信仰の神

①亀住（かめずみ）稲荷神社 ››› 外神田5-4-7

豊前小倉藩小笠原家中屋敷にあった稲荷と神田八軒町にあった稲荷を一緒に祀った社です。明治初め、周囲の町と合併の際、縁起を担ぎ、末永く生活できる場であってほしいという願いを込め、神田亀住町となり、亀住稲荷と名付けられました。町名変更で外神田となった今も亀住稲荷として管理されています。

②金網（きんつな）稲荷神社 ››› 神田和泉町2-3

江戸時代に飛脚問屋京屋弥兵衛が生業の発展と道中安全などを祈願して創建した稲荷と伝えられています。その後、日頃の信心の篤さに夢の中に「黄金の網を授ける」という託宣を受け、金網稲荷と称する事になりました。今も統合を重ねてきた運送会社によって大事に守られています。

③草分（くさわけ）稲荷神社 ››› 神田佐久間町3-21 佐久間公園内

江戸時代に上野安中藩板倉家中屋敷の屋敷神として創建された稲荷です。明治維新後には武家屋敷は取り払われて、町家と祠のみが残り、廃れゆく稲荷を惜しんだ町内の有志が蓄財を出し保存してきました。昭和36年に現在の佐久間公園の東北隅に遷座され、地元町会によって管理されています。

④繁栄（はんじょう）お玉稲荷神社 ››› 岩本町2-5-13

「桜ヶ池」（後の於玉ヶ池）という池に身投げした近くの茶屋の看板娘、お玉の霊を祀る社として江戸時代には名所となりました。今も稲荷と並んで、弁財天を祀った小祠があり、お玉稲荷の祭礼と合同で神事が行われています。お玉ヶ池史跡保存会が、地域の守護神として大事に祀っています。

お散歩MAP

4つの稲荷はゆっくり散策しながら歩いても1時間くらいで歩けます。

稲荷の狐は表情や姿がそれぞれ異なり、個性があります。
お気に入りの狐さんを見つけて下さい。

DanDan編集室による
お散歩かるた vol.7 稲荷神社

い	う	だ	ち	み	ゆ	り	ろ
稲荷講 駄菓子嬉しき 幼き日	旨そうに 稲荷頬ばる わが息子	大繁盛 祈る心に 稲荷の力	小さき手 合わせ鳥居に 五円置き	身を投げた お玉さんに祈る 繁栄を	夢かしら 稲荷に願い くじ当たる	凛として 連なる鳥居 おごそかに	路地裏の 密かにたたずむ 屋敷神

こぼれ話｜街の人々に大事に祀られているお稲荷さん

千代田区内の稲荷は、道を歩いていると建物の間から姿を現し、長きにわたり、そこにあることを感じさせます。

しかし、そんなお稲荷さんばかりではありませんでした。驚いたことに飲食店の店内で祀られている稲荷があります。左頁で紹介している草分稲荷が公園の中に、金網稲荷が昭和通りから運送会社横に移転し、祀られています。

神田神社、日枝神社や平河天満宮のような大きな神社の境内にも小さな稲荷が複数あります。元の場所では管理できなくなった時に、大きな神社に遷されたものもあるようです。大きな鳥居をくぐったその先にまた小さな鳥居がある…。そうやってお稲荷さんを大切にしている千代田の人の気持ちが伝わってきます。

Mana-being ››› 何度もの地震や戦争を経ても、今もこの大都会東京のビルの間に大事に街の人々に祀られているお稲荷さんに人々の篤い思いを感じました。［髙島］

シリーズ
千代田の学び人にあいたい vol.2 ››› 徳光祝治（とくみつしゅくじ）さん［結びの会・代表］

今は街並みが整備されたにもかかわらず、何かしらギスギスした感があります。良いまちづくりは何か特別なことをするのではなく、日常的な行動から生まれる、を自分自身の理念として活動しています。

「結びの会」では、主に麹町地区の歴史やまちづくりを紹介する『半蔵門通信』を発行し、千代田区観光協会のHPにも掲載しています。また、地域の方々からの聞き取りや身近な歴史の語り合いもしています。

私は不動産鑑定士として、土地にかかわる仕事をしてきました。地霊を意味する「ゲニウス・ロキ」という言葉から、土地には土地の霊があり、それを背景に民族や都市が出来ていると知り、人間と土地の空間的、時間的な関わりに関心を持ちました。また、フランスで、「Ça va？」と日常的に挨拶を交し合う国民性に触れ、身近な地域で、皆さんと接点をもって活動することを考え、麹町地区を中心に「結びの会」を始めました。

大事なことは“聞く”ということで、それぞれの人が持っている記憶をあの世に持っていかないで欲しいと思い、記憶を残し、書物に纏め、『麹町の記憶』という本も上梓しました。

「一人の人が亡くなるのは図書館が一つなくなるのと同じ」というアフリカのことわざがあります。生活の記憶を残すことはとても大切なことだと思います。これからも、無理をせず、継続してあきらめずに、心の通うまちづくりを皆さんと共に目指していきたいと思っています。

時間をかけない、お金をかけない、心をかけるまちづくり

Mana-being ›››
人と人との関係、人と土地との関係、人と地域との関係の視点で学んで行くことの深さ、面白さ、醍醐味を実感しました。［尾熊］

editor in chief ››› Chise Hirano　editor ››› Ikuo Oguma, Yuriko Takashima, Hiroshi Takeuchi, Shigeru Matsuda, Nahoko Miura & Yuichiro Kurozumi　design ››› koka